

# 令和3年度事業報告

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

平成30年6月15日にIoT、AI、ロボット等を活用し生産性向上、新商品・新サービス創出等を推進することを目的に設立された「岐阜県IoTコンソーシアム（以下、「コンソーシアム」という。）」は、4年目を迎えた令和3年度には、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から総会は書面表決にて開催し、セミナー・講演会等もオンラインで行うなどの感染対策をとりつつ実施した。IoTに関する普及啓発、コンソーシアムに参加する企業・団体等が実施する実証事業等への助成等各種活動を支援することで、県内企業の実業性向上、イノベーション創出を推進した。

(令和4年3月31日時点の会員数 275 (一般：191 団体：54 学術：20 行政：10))

## 《事業概要》

### 【普及啓発事業】

- 1 講演会・セミナー、研修会等の開催
- 2 先進事例調査
- 3 会員間の連携やマッチングの支援
- 4 広報事業

### 【活動支援事業】

- 1 ワーキンググループ活動の支援
- 2 ワーキンググループが行う研究事業・実証事業への助成事業

## 《事業内容》

### 【普及啓発事業】

#### 1 講演会・セミナー、研修会、相談会、調査等の開催

IOT等を活用した生産性向上、新商品・新サービス開発に関するテーマで、講演会・セミナー、研修会や、会員アンケート、IoT導入・活用事例紹介等を7回開催しのべ277名が参加した。(のべ人数には、アンケートの参加人数は含みません)

5月10日 (主催) 調査 メールにて	<b>DXに関するアンケート(一般会員対象)</b> ○ DXに関して 有効回答数 26
5-7月 (主催) 調査 メールにて	<b>IOTの導入・活用状況に関するアンケート(まとめをホームページにて公開)</b> ○ IOTの導入・活用状況に関して 有効回答数 147 (内一般会員 118)
5月27日 (主催) オンライン	<b>令和3度講演会「新たな価値を創るデジタル変革(DX)の実践」</b> 66社86名参加 ○ 「新たな価値を創るデジタル変革(DX)の実践」 講師：日本アイ・ビー・エム 執行役員 グローバル・ビジネス・サービス事業本部 金融サービス事業部担当

	<p>孫工 裕史氏</p> <p>○ 鼎談 林 彰 × 松島 桂樹 × 孫工 裕史          テーマ：「岐阜県の企業が取り組むデジタル化」          講演者：孫工 裕史 氏 日本アイ・ビー・エム株式会社 執行役員          林 彰 氏 岐阜県工業会会長          DAISEN 株式会社 代表取締役社長          松島 桂樹 岐阜県 I o T コンソーシアム理事長          公益財団法人ソフトピアジャパン理事長</p>
<p>9月3日 10日 (主催) オンライン</p>	<p><b>令和3年度講習会「機械学習のためのPython オンライン講習会」</b>          講師：早稲田大学 研究院教授 GCS(グリーン・コンピューティング・システム)研究機構 上級研究員 岐阜大学 特任教授 速水 悟教授</p> <p>○ 1日目 13社 18名参加          ・人工知能技術の活用 ・オンライン受講のために ・Python 基礎          ・データの可視化</p> <p>○ 2日目 14社 19名参加          ・統計データ解析 ・教師あり学習(回帰分析、クラス分類)          ・教師なし学習(クラスター解析、主成分分析)</p>
<p>10月14日 (総務省東海 総合通信局等 との共催) オンライン</p>	<p><b>テレワークセミナー「テレワークでつなぎ止める優秀人材～中小製造業におけるテレワーク実践例～」</b> 41社 42名参加</p> <p>○「離職者をつなぎ止める 経験者をテレワークで「人材確保」」          講師：ダブルインフィニティコーディネート代表 齋藤 博美 氏</p> <p>○「製造業におけるテレワーク」          講師：中央工機株式会社 代表取締役社長 加納 稔 氏</p>
<p>10月15日 24日 (岐阜大学人 工知能研究推 進センター、 岐阜県産業技 術総合センタ ー等の共 催) オンライン</p>	<p><b>令和3年度講習会「Deep Learning講習会」</b>          講師：岐阜大学人工知能研究推進センター長 加藤 邦人教授          早稲田大学 研究員教授・岐阜大学 特任教授 速水 悟教授          岐阜県産業技術総合センター職員</p> <p>○ 1日目 14社 20名参加          ・Deep Learningの概要          ・単純パーセプトロンの講義と演習          ・3層ニューラルネットワークの講義と演習</p> <p>○ 2日目 14社 20名参加          ・畳み込みニューラルネットワークの講義と演習          ・オートエンコーダの講義と演習</p>
<p>11月22日 (主催) オンライン</p>	<p><b>スマートワークセミナー 「電子契約の基礎」</b> 54社 72名参加          講師：一般財団法人日本情報経済社会推進協会 (JIPDEC)          デジタルトラスト評価センター 主査 高倉 万記子氏</p>

## 2 先進事例調査

I o T利活用に取り組む県内外の先進的な企業や施設等 1カ所を見学した。  
10 企業 10 名が参加。

<b>11月30日</b>	<b>先進事例調査</b>	10社 10名参加
(主催)	○「DXに手が届く。I o T機器見学会」 見学先：株式会社エヌテック（岐阜県養老郡養老町）	

## 3 会員間の連携やマッチングの支援

30 の会員が参加する 10 のワーキンググループが発表する成果報告会を開催し会員間の交流を促進した。

<b>令和3年 5月27日</b>	<b>岐阜県 I o Tコンソーシアム総会中止に伴う議決事項の書面表決</b>	
(主催)	会員総数(令和3年5月27日現在) 269 賛成 211 反対 0 無回答 58	
郵送にて		
<b>2月22日</b>	<b>ワーキンググループ事業費補助事業「成果報告会」</b>	106社 177名参加
(主催)	○ 岐阜県 I o Tコンソーシアムワーキンググループ活動補助金採択事業 10のプレゼンテーションを実施	
オンライン	○ 成果展示	
【サテライト会場】 ソフトピアジャパン		

## 4 広報事業

月1回のメールマガジンを配信し、積極的に活動の広報を実施した。

<b>令和3年4月 から 令和4年3月</b>	<b>メールマガジンの配信</b>	
	○ 毎月1回（原則第2営業日）＋臨時号 合計17回配信	

## 【活動支援事業】

### 1 ワーキンググループ活動の支援

必要に応じて 打合せ会議を開催し、事業進捗を支援した。

### 2 ワーキンググループが行う研究事業・実証事業への助成事業

10のワーキンググループ（30会員）の活動に対して対象経費の助成を行った。

※補助率：補助対象経費の2分の1以内、

補助限度額：上限 5,000 千円

#### 《助成した10のワーキンググループと事業課題》

1	事業課題	自動プレス生産における、多量不良による生産性の低下を招く 品質不具合を撲滅し、データ分析による生産性の向上を図る
	ワーキンググループ名	IoT 活用による プレス設備の自律化WG
	ワーキンググループ構成員	幹事企業:株式会社樋口製作所 メンバー企業:株式会社システムアドバンス
2	事業課題	IoT×テレワークによる品質・生産性向上 —リモート検査・間接業務実施体制の構築で描く、採用不利地域における企業の未来像—
	ワーキンググループ名	IoT・DXによるテレワーク推進グループ
	ワーキンググループ構成員	幹事企業:株式会社ASALITE メンバー企業:VIVエンジニアリング株式会社、特定非営利活動法人 ITC中部
3	事業課題	溶解、成型工程のデータ収集のIoT化と見える化により生産性向上を図る
	ワーキンググループ名	IoTによる鋳造工程の自動化、見える化研究会
	ワーキンググループ構成員	幹事企業：株式会社岡本 メンバー企業：株式会社ナベヤ、株式会社OSデベロップメント
4	事業課題	スマート物流センターの自動化を推進するためのIoT連携の実証
	ワーキンググループ名	物流現場におけるIoT・ロボット活用WG
	ワーキンググループ構成員	幹事企業:株式会社セイノー情報サービス メンバー企業:濃飛西濃運輸株式会社、株式会社ブイ・アール・テクノセンター
5	事業課題	IoTを活用したスマート工場計画
	ワーキンググループ名	IoTによる製造現場の困り事解決W/G
	ワーキンググループ構成員	幹事企業:岐阜車体工業株式会社 メンバー企業:株式会社ワークスペース
6	事業課題	IoT を活用したコンクリートひび割れ計測システムの実用化に向けた研究開発
	ワーキンググループ名	コンクリートひび割れ計測システムの実用化に向けたIoT活用WG
	ワーキンググループ構成員	幹事企業:株式会社市川工務店 メンバー企業:株式会社ライトスピードソリューションズ、岐阜県産業技術総合センター

7	事業課題	IoTの活用によりメンバーの共通の課題である低コストで機械設備の稼働情報収集、見える化を実現する
	ワーキンググループ名	IoTによる機械設備の稼働情報収集、見える化WG
	ワーキンググループ構成員	幹事企業:株式会社坂井製作所 メンバー企業:野村精機株式会社、鈴木刃物工業株式会社、特定非営利活動法人 ITC中部
8	事業課題	手作業工程で取得できるデータの充実及びデータ取得方法の簡略化による、「見える化」と改善活動のさらなる推進
	ワーキンググループ名	IoT活用によるボトルネック工程の「見える化」とPDCAによる改善活動WG
	ワーキンググループ構成員	幹事企業:株式会社大野ナイフ製作所 メンバー企業:株式会社ユニフェイス、株式会社オフォスむしか
9	事業課題	IoT/AIエッジカメラの開発、食品工場で実証実験することでHACCP生産性向上の効果を検証する研究開発
	ワーキンググループ名	AIエッジカメラによる生産性向上検証ワーキンググループ
	ワーキンググループ構成員	幹事企業:株式会社インフォファーム メンバー企業:株式会社ソード、カルビー株式会社湖南工場
10	事業課題	ロボットSler 工程の属人的業務管理の可視化からDX 化の実現
	ワーキンググループ名	ロボットSler IoT・DXを活用して生産の効率化を目指すWG
	ワーキンググループ構成員	幹事企業:株式会社エヌテック メンバー企業:日晃オートメ株式会社、スターテクノ株式会社、株式会社田口鉄工所

(2 は、テレワーク導入実証事業)